

シンポジスト: 船越 栄次先生(船越歯科医院)

質問はございませんでした。

シンポジスト: 清水 宏康先生(清水歯科クリニック)		
質問者職種	質問事項	回 答
歯科医師	インプラントをされてる方が介護状態になり、施設へ入居していることがよくあります。これからも増えていくと思います。そういった方への対応や、メンテナンスはどのようにされていますか？ また、そのような方々が増加していく中で、高齢者へのインプラントをどのようにしていけばいいのか、お考えをご教授いただければと思います。	インプラントの状況を適切に把握することが重要と考えています。 介護状態になっても必ずしもインプラント周囲に重篤な炎症が発症するわけではありませんし、逆にそのような状況にあるのであれば、対応可能医療機関への紹介を積極的に行う必要があります。インプラントと異質なものと捉えるのではなく、歯に対しての対応と同様のことを考えることが重要と考えております。
歯科医師	インプラント周囲炎の治療法として先生が洗浄後行っていく処置としてはどのようなものがあるのでしょうか	炎症が残存するならば、外科的介入を考えます。フラップを開けての表面クリーニング、周囲骨形態によっては、その後再生療法を考えます。

シンポジスト: 築山 鉄平先生(つきやま歯科医院 専門医療センター天神)		
質問者職種	質問事項	回 答
歯科医師	これから一年以内に通院できなくなる確率が高い患者さんへの対応を教えてください。	当院では週に1度、往診を行っていますので私たちがリーチできる範囲でケアさせていただいております。
歯科医師	メンテナンスを自費にするにあたり、苦勞されたことを教えていただきたいです。 また、大体何割程度の方が自費メンテナンスを受け入れてくれたか、お聞かせいただけたらと思います。	最初の1年では概ね5割の人が受け入れていただきました。その後、徐々に回復して現在は当時のメンテ数からすると7割くらいが継続通院していると思います。